

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム
2024 年度第 1 回コンソーシアム会議 議事録

日 時： 2024 年 6 月 6 (木) 10:00～11:20

場 所： Zoom ミーティング

出 席 者：(敬称略) 出席者下線

ゲスト：森山潤、山本利一(日本産業技術教育学会)

代 表：岸本喜久雄 (部会 2) 副 代 表：山本誠 (部会 3)

幹 事：白旗弘実 (部会 1)

委 員：結城義敬、久保田寿夫、湯地敏史、松村暢彦、高橋章浩、佐藤勲、
中澤浩介、三田清文、新宮清志、吉田佳典、後藤まどか、田中皓輔、
廣瀬壮一、井上裕嗣

オブザーバ：對崎真楠、土屋大地、和田卓、原口亮治

維持員：森田勉、石田好輝、最上公彦

顧 問：有信睦弘、松瀬貢規

事務局：竹内章晃

議 題： (順不同)

1. 日本産業技術教育学会の声明文 (森山 潤 副会長殿による講話及び質疑応答)
「初等中等教育における S T E A M 教育の導入とテクノロジー教育の拡充・刷新について」
2. 2023 年度第 6 回(3/21)コンソーシアム会議議事録確認
3. 次期の体制について
4. 今後の活動について
5. その他

配布資料：

- 0-1： 2024 年度第 1 回科学技術人材育成コンソーシアム会議 議題表 (本紙)
- 0-2： 2023 年度科学技術人材育成コンソーシアム役員・委員名簿(現状)
- 1-1： 日本産業技術教育学会の声明文 (サマリー図)
- 1-2： 日本産業技術教育学会の声明文 (概要)
- 1-3： 日本産業技術教育学会の声明文 (全文)
- 2： 2023 年度第 6 回コンソーシアム会議 (2024/3/21) 議事録 (案)
- 3： 2023 年度科学技術人材育成コンソーシアム役員・委員名簿(変更案)
- 4-1： 令和 5 年度事業報告書
- 4-2： 令和 6 年度事業計画書

議 事：

1. 日本産業技術教育学会の声明およびコンソーシアムの対応

日本産業技術教育学会 副会長 森山氏より、同学会の取り組みが述べられ、コンソーシアムとしてどのように協力していくかを議論した。同学会の取り組みおよび提案は次のとおり。

資料 3

STEAM 教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)の重要性が認識されて久しい。日本では中学校の技術、家庭科がそれに近いが、Technology, Engineering の要素が少ないように思われる。そこでここでは特に中学校で「Technology 科」(仮称)という科目を提案したい。内容としては、コンピュータサイエンス、情報通信ネットワーク、プログラミング、AI・IoT の構築と活用、デジタルものづくり、などがあげられる。これにより、全ての国民が最先端テクノロジーに関する基礎的な素養(リテラシー)を身に付けることで、ウェルビーイングな人生を実現でき、Society 5.0 の実現に資するものと考えられる。

出された意見は次のとおり。

C1 当コンソーシアムも理科離れ対策から始まった面はあり、趣旨に対しては賛成である。具体的にどのように支援するかは考える必要はある。

A1 賛同する学協会のリストを作って、文部科学省に問いかけたい。まずは賛同していただければありがたい。具体的な提案があればそれも歓迎する。

C2 理科教育が指摘されているが、工学までは手が回らない。理科に重点がいつてしまう。日本では中学だけで技術を行っている。他の国と比較しても少ないほうである。

C3 定年退職したエンジニアなどの人材活用もできると思う。日本工学会から働きかけられることと思う。

C4 授業科目が増えることになると文科省での検討項目になる。

A4 そういうことになると思われるが、まずは議題に上ってから詳細は提案していきたい。

C5 中学校で technology を学ぶことで、理科の学びへの気づきが生まれるかもしれない。

2. 2023 年度第 6 回(3/21)コンソーシアム会議議事録確認

議事録を承認した。気づいた点があれば、後日でよいので、連絡していただきたい。

3. コンソーシアム次期の体制について

資料 3 のコンソーシアム名簿に基づき次期の体制について議論、確認を行った。

- 委員の交代として電気学会：久保田寿夫先生，土木学会：田中皓輔先生を確認した。
- 日本機械学会，日本建築学会は 1 名の増員が決まっていないようであるので，再度問い合わせることとしたい。
- 今年度日本工学会の理事に就任される伊藤宏幸氏に参加いただきたい。

4. 今後の活動について

今後の活動について意見が交換された。

- 資料 4-1 に示すように 3 つの部会で活動していくことを基本としたいが，具体的な内容は廣瀬壮一代表にお任せしたい。
- 世界エンジニアリングデーは重要なので，今後も携わっていきたい。
- IMechE (イギリス機械学会) と JSPE(日本プロフェッショナルエンジニア協会) に加わっていたので，メンバーを出していただくことと学協会の取り組みを話していただくことになる。

5. 次回

2~3 か月後を目安に日程調整を行う